

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 2013 第4号

2013.9.18
第4回会議
評価・改善案
をまとめる
の巻

本年度のきたかみ未来創造会議の最終回（4回目）が9月18日に行われました。

<当日の流れ>

今回は、これまでの検討をまとめることが到達点になります。

まず、初めにグループ内で、これまでの検討のふりかえりおよび、改善事項の抜けがないかどうかの確認を行いました。

その後、分野間の意見交換に移ります。まずは、金色のシールをもって、すべての分野の評価理由や改善案等で、特に賛成できるものにシールを貼り、思いの共有を行いました。

そして2つの分野を選んでの意見交換となります。各分野のお留守番の方が、その分野のお話を聞きたいという方へ、これまでの検討経過、特に苦勞をした点についてお話をいただき、それに基づいてさらなる改善案検討を行いました。

最後に、再度自分のグループに戻ってのまとめになります。他分野の方からの意見、あるいは他分野の検討内容を参考に、評価が本当にこれでよいかの確認と、改善案の最優先事項の選定を行いました。

今回の検討は、評価に関しては、市の内部評価等と組み合わされ、市の実施計画改善に反映されるほか、改善案についても情報共有がされ、総合計画をさらに進めるための材料となっていく予定です。

さらに、今回、評価方法自体の改善であったり、施策の体系、目指すべき姿と指標の関係性の整理など、皆さまから頂いた課題については、後期基本計画策定時に見直しが進められる予定です。

この2年間の取り組みは、市民が初めて市の総合計画の評価へ主体的に関わる機会であり、全国でも非常に稀なものでありました。

参加いただいた皆さまの真剣な検討により、2年間計8回の検討を無事終えることができました。

皆さま、ご参加いただき、本当にありがとうございました。



他分野の評価・改善案確認



他分野との意見交換の実施



最終意見のとりまとめ



まとめ・感想の共有

〇ふりかえりカード

- 予習して来たので、今日は、進めやすかった。グループのまとめも良かったが、欲言えば、話し合う時間が足りなかった。来年も参加したい。
- 分野分けが、初めは総合計画に合わせて行われているのは当然だが、それでは、それまでの分野・施策区分に合わせることであり、取り上げる課題も5年、10年前とそう変わらないものになりやすいので、4回の後半分は、分野分けなしで、かつ、個々に記述などさせた集約がほしい。それが、次の計画により有益になるだろう。
- 最後の会で発表係となったが、まとめることが出来なく終わってしまった。
- 今回最後までしたが、人数が戻すほみしたことは残念です。最初に出ていた意見を生かす、最優先事項への責任をまぬがれていた感じがします。
- 関係者の協力に御礼申し上げます。（機会を設けてくれた事に感謝します。）

<みなさま、おつかれさまでした。ありがとうございました>

